

思いやりの気持ち

美幌町立美幌中学校 2年B組 原田 楓

今年、美幌町でヘルメットが無償提供されることになった。僕も対象だったので好きなデザインのものを希望した。町内の全小中学生に無償で提供するなんて、粋なことをする町だと思った。

それに、子どもの命を守るために考えてくれている町なんだと思った。

全国で行われている「春の全国交通安全運動」や夏の「夏の交通安全運動」でも道路に旗を持った人がたくさん並び、交通安全を呼びかけたり、毎日の通学路では、僕たちの安全を守るために、たくさんの人たちが見守ってくれたりしている。

僕たちはその思いを受け、交通安全を意識して通学しているのだろうか。現状は、斜め横断や、自転車で道を塞ぎながら走行したり、一時停止の標識を無視して走行したりする人がいる。

ふざけながら歩いて、道路に飛び出してそのことになることもあつた。一生懸命守ろうとしてくれている人がいるのに、自分はあまり意識して生活していないことに気付いた。

朝、一人で登校している時は早く学校に着きたくて焦って

いる。そんな時、前を歩いている人がいるとイライラすることがある。もっと早く！邪魔！と思ってしまう。でも帰り道友だちとだらだら並んで歩いている自分がある。きっと、僕の後ろを歩いている人や近くを運転する人も同じ気持ちでいるのかもしれないと思った。僕は、自分優先ですごしていた。守ろうとしてくれている人の思いや、迷惑だと思って運転していた人たちにもうしわけないと思った。それと同時に相手を思いやる気持ちが交通安全に必要なと思った。ゆっくり歩いている人がいたら、「疲れているのかな。」「のんびりしたい気分なのかな。」とか、イライラしないで過ごすことが大切だと思った。車を運転する人も歩行者も、自転車に乗る人も、思いやりの気持ちをもってイライラしないで交通ルールを守ってほしい。

僕は、気持ちと時間に余裕をもつことと、周りの気持ちを考えて通学しようと思う。二期、たくさんの人たちの思いが詰まったヘルメットを被り、交通安全を意識して自転車に乗りたいと思う。